

「みんなでつくる 本がいっぱい 楽しさいっぱい」読書啓発冊子

湖南省教育委員会

- 1 趣 旨
 - 子どもたちに本の親しみを伝えることができるような冊子とする。
 - 湖南省の子どもたちが読んだ本の楽しさ・おもしろさを、湖南省の子どもたちによる表現で、自分以外の子どもたちに伝え合うことで、さらに本を読もうという気持ちを高める。
 - 市民のかたにも原稿募集を呼びかけていくことによって、RGH 運動の広がりを図る。

*「児童生徒の読書意欲の喚起」は、学校図書館資源共有ネットワーク推進事業の調査研究内容の一つに位置づけられている。ただし、この冊子で紹介する本を児童生徒に強制するものではない。
- 2 原稿募集 7月～11月
湖南省広報や市内13小中学校で各個人にチラシを配布
- 3 編 集
 - 紹介文より選ぶ
 - ・本を読んだ楽しさが伝わってくる。
 - ・その思いを友だちに伝えたいという気持ちも伝わってくる。
 - 内容構成
 - ・「〇〇生がすすめる本」とする。
 - ・奥付に家庭、地域へと読書活動が広がる文書を入れる。
 - 委員
小学校代表
中学校代表
公共図書館代表
教育委員会代表
(学校図書館資源共有ネットワーク推進事業支援センター委員)
- 4 概 要
 - 小・中学生向け図書を149冊掲載
 - 紹介文は本を選んだ本人が書いたもの
 - ※誰からの紹介かが分かるように、学校名・氏名(ペンネーム可)もあわせて掲載
- 5 部数・配布 7,000冊
市内小中学生、教職員、公共図書館、県内教育委員会、県内各小中学校など
- 6 経 費 514,500円;
学校図書館資源共有ネットワーク推進事業(文部科学省示達経費)より
- 7 その他 湖南省学校教育ネットHPで公開する。